

市内の温麺業界の振興について

四 電 英 夫



〔質問〕白石温麺業界が苦境に立たされているが、現状をどのように分析しているか伺う。

〔答弁〕「商工観光課長」後継者の育成が進まず、設備投資や販路拡大に踏み切れない。またコロナ禍の影響も大きいと思われる。

〔質問〕現状を打開するための対策を伺う。

〔答弁〕「商工観光課長」後継者の育成が急務であること、インターネットを活用した自社の通販ショップの充実を図り、他の業者との差別化を進めること、Gマーク（伝統と品質を守る）を取得することが、国内外の取引で有利な対策と思われる。

◎園児の保育と児童・

生徒への対応について

〔質問〕最近、園児が送迎バスに閉じ込められて亡くなるという悲惨な事故が発生したが、市内の私立保育園・幼稚園に対して何らかの呼びかけをしたのか伺う。

〔答弁〕「子ども家庭課長」痛ましい事案の発生を受け、安全管理の確認を行なった。今後とも施設と情報の共有を図り、園児の安全管理に努めていく。

〔質問〕保育の現場で行き過ぎた対応などがないか伺う。

〔答弁〕「子ども家庭課長」県と合同で年一回実地監査を実施している。子どもたちの健やかな成長を、他機関とともに連携して見守っていく。

◎公共交通に関するアンケート調査の結果について

〔質問〕先般、公共交通

に関する市民アンケート調査を実施したが、その結果からどのような対策が必要と思われるか伺う。

〔答弁〕「市長」現在、地域公共交通計画を策定中であり、地域公共交通の役割、課題の整理を行い、住民、地域ニーズに合った持続可能な公共交通ネットワークを構築するために必要な対策を盛り込みたいと考えている。

◎生産資材価格高騰に対する農家への支援策について

〔質問〕農業資材価格の高騰に対する支援策について伺う。

〔答弁〕「市長」国では肥料価格高騰対策事業を実施し、県でも同様の対策を実施することになっている。

本市では、それらの事業と重複しないよう、水稻（10アール当たり2千円）と園芸（10アール当たり3千円）に栽培面積に対して支援金を交付することとした。

第六次白石市総合計画の推進について

角 張 一 郎



〔質問〕総合計画初年度（令和3年度）の取り組みについて、どのように評価しているか伺う。

〔答弁〕「市長」令和3年度は、総合計画に掲げる重点戦略や分野目標の実現に向けた事業を着実に実行し、市民サービスの向上や効率的な組織体制の強化を図るため、組織再編を行なった。

ふるさと納税寄付金の増額や待機児童の減少、子どもたちの確かな学力の育成など、順調に進められた分野と、観光客入込数や移住関係など、新型コロナウィルス感染症や地震の影響により、厳しい結果とな

った分野があると認識している。

〔質問〕人口減少問題について、白石に住み続けたいと思うような施策が必要と思うが、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」いつまでも白石に住み続けたい「やっぱり白石だ」と選んでいただけのまちづくりをするためには、市民満足度をいかに上げていくかが非常に重要であり課題でもある。

市民からのさまざまな課題、思いを解決していくことが市民満足度につながる、結果として「選ばれる白石」になっていくと考える。

あると思う。シビックプライドの醸成を図る施策として「シビックプライド条例」を制定することも有効な手段であると思うが、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」条例の制定も望ましい手段の一つとは考えるが、シビックプライドの醸成により、白石に住み続けたいという市民を増やしていくことが、白石の魅力を発信する一番のシティブロモーションになると認識している。

現在、シティブロモーションを推進していくため、国の企業人材派遣制度の活用を検討しており、民間のノウハウや知見も取り入れながら、シビックプライドの醸成を図ることに努める。

その他の質問

◎業務量調査について

〔質問〕総合計画の推進には、シビックプライドの醸成は欠かすことのできない重要な要素で